

「薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会」について

「薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会」事務局
（薩摩川内市企画政策部新エネルギー対策課）

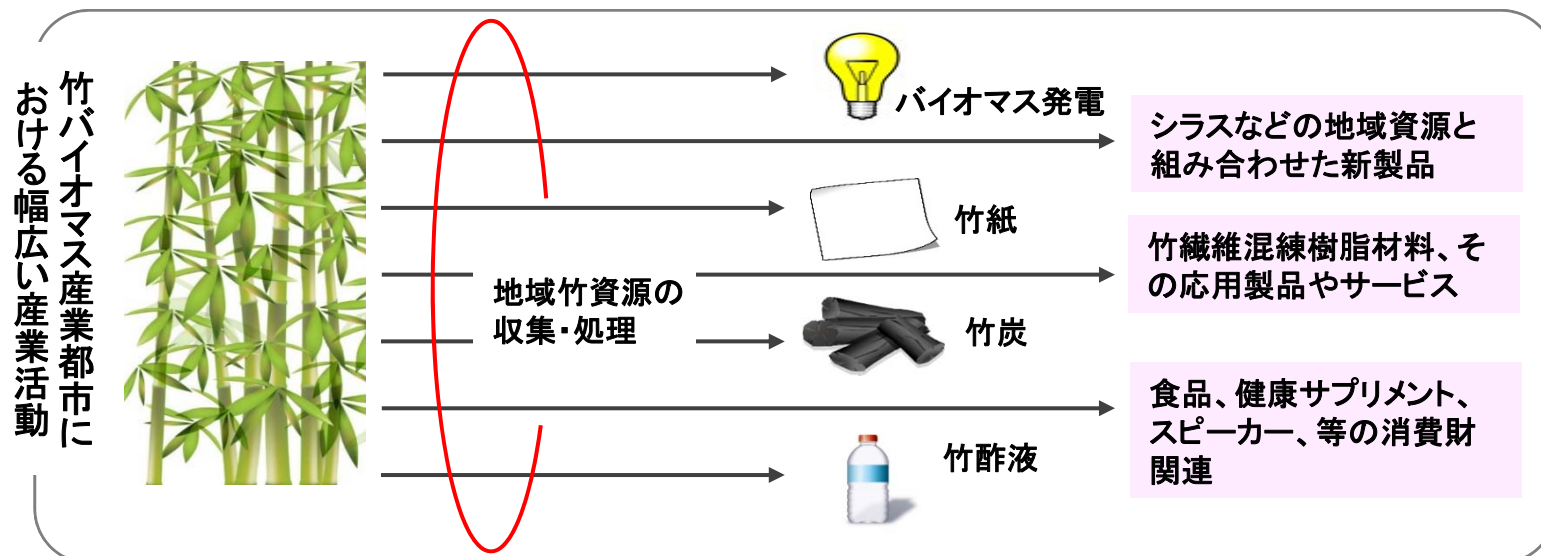
薩摩川内市竹バイオマス産業都市構想と「竹バイオマス産業都市協議会」

薩摩川内市竹バイオマス産業都市構想とは

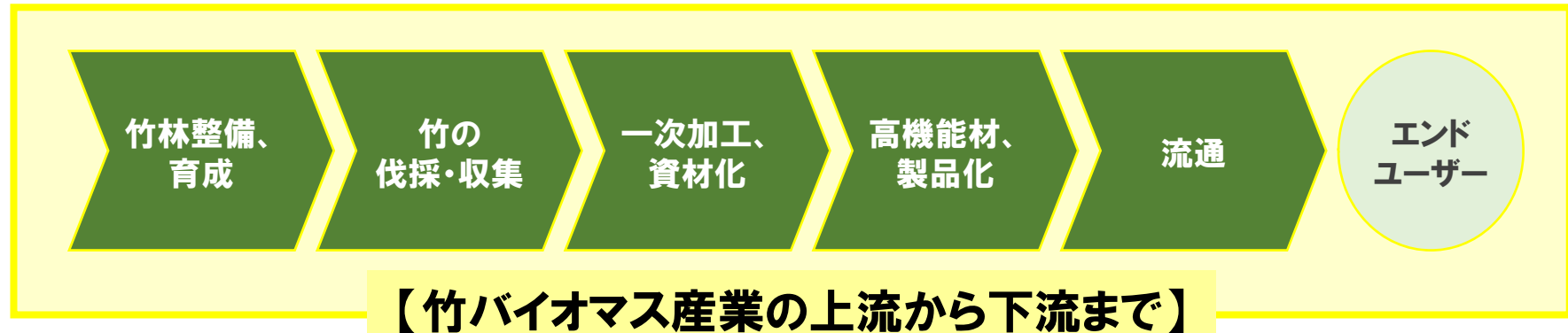
- 薩摩川内市周辺の竹資源を「バイオマス(生物由来の再生可能な有機資源)」として捉え直し、
- 従来の竹利用分野だけでなく、さらに多様・多機能な材料及び製品、及び竹資源の収集・処理事業も含めて、
- 産業の上流から下流までを視野に入れ、真の産業化を推進する活動を創造していく都市づくり

「竹バイオマス産業都市協議会」

この産業都市構想を、薩摩川内市の住民や企業、団体等にとって、現実的な価値の創造に寄与して行くことを目的に、関係者の多様な視点をぶつけ合って今後の方向性を検討し、相互の価値を生む連携を推進するための場として形づくって行きます。



協議会の活動対象



- 竹というバイオマスに関する事業の、原資源からマーケットまで、上流から下流までの全体が基本の対象。
- その事業推進において、協議会での連携が付加価値につながる(可能性を持つ)活動全般を対象とする。
- 具体的詳細は、協議会の中で決定し推進する。

【連携が付加価値につながる活動(例)】

- 最新・関連情報の共有
- テーマ別研究会
- 関連技術や知識の普及啓蒙
- 地域ブランド化での認知度向上
- 共同広報
- 自治体や省庁予算の共同確保

などなど

活動計画

◆竹バイオマス産業都市協議会の設立と協議事項

竹バイオマス産業都市協議会は、メンバーを市内外から広く公募するとともに、次に掲げる協議を行います。

- (1) 竹バイオマス産業都市の実現に向けて、事業の円滑な推進を図るための協議・検討に関すること。
- (2) 竹バイオマス産業に関連する新たな事業の企画・立案及び計画の策定に関すること。
- (3) 市民の理解促進、市内企業等の参画、企業誘致を促進するための取り組みに関すること。
- (4) 市内外への情報発信に関すること。
- (5) その他、必要な事項に関すること。

回数	時期	議題
第1回	7月13日開催	設立会、取組み方針等の説明等
第2回	3月中旬	今年度の取組みについての報告、翌年度に向けた方針等

◆役員会の設置と検討

役員会は、会長と副会長、幹事により構成し、本協議会の実効的な運営に向けた検討を行います。

回数	時期	議題
第1回	8月上旬	取組み方針等の説明・検討
第2回	11月中旬	各分科会進捗状況等の途中報告、推進に向けたアイデアの検討
第3回	3月上旬	今年度のとりまとめ案、来年度の方針検討

◆事業化促進に向けた5つの分科会の設置

薩摩川内市竹バイオマス産業都市構想の実現に向けて、事業化を促進するために以下の5つの分科会を設置して取り組みを進めていきます。同時に参加企業等にとって、欲しい情報の収集と検討、ビジネスパートナー探しの場・機会にしていきます。

分科会での検討等により、個々の企業、または会員企業等の連携による事業化促進等を活性化していくとともに、補助金情報や活用方法、事業計画作成方法等、会員企業の困りごとに適切かつ総合的に対応できるサポート体制によりご支援させていただきます。

- (1)産業用高機能材料分科会
- (2)生活市場向け製品分科会
- (3)セルロースナノファイバー活用促進等分科会
- (4)竹バイオマス・エネルギー分科会
- (5)竹の収集・処理地域システム分科会

組織構成

【会長】中越パルプ工業(株)川内工場長
【副会長】薩摩川内市企業連携協議会長
薩摩川内市副市長
+ 幹事数名

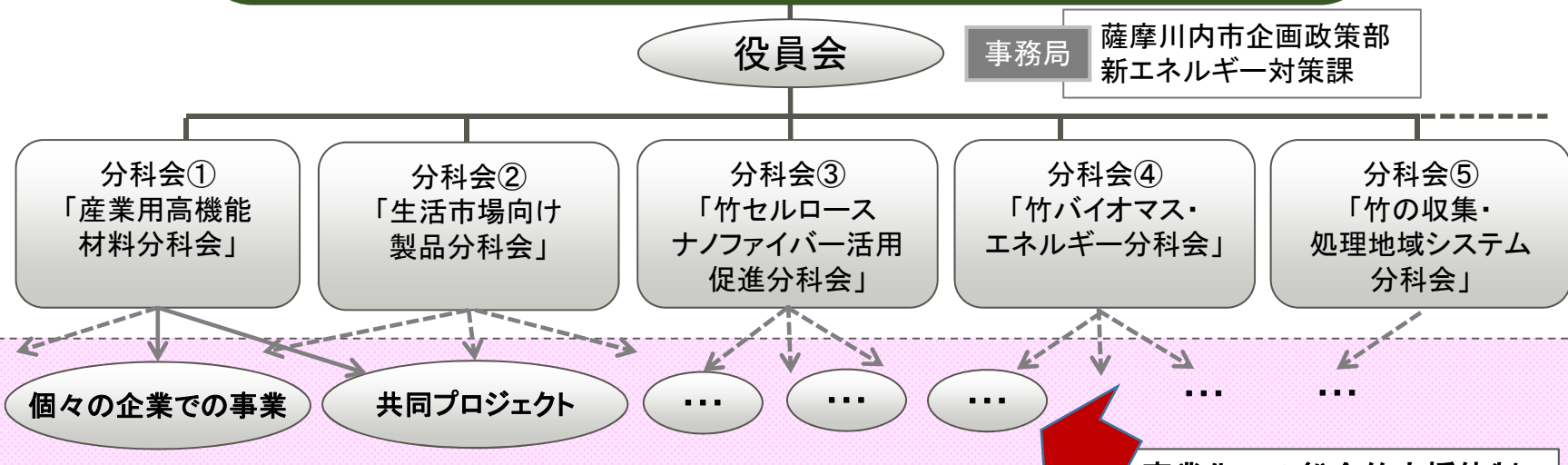
竹バイオマス産業都市の実現に向けて、下図のような構成で推進していきます。

全体協議

テーマ別協議

個別事業の促進
と各種サポート

薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会



【各分科会での検討内容例】

(1)産業用高機能材料分科会:

竹繊維等を活用した精密機器資材・梱包材開発、高機能内装材、産業資材の高機能化

(2)生活市場向け製品分科会:

高品質な機能性竹炭等を活用した食品やサプリメント、抗菌製品等の開発・促進等

(3)竹セルロースナノファイバー活用促進等分科会:

竹セルロースナノファイバーの優位性等を活かした活用促進や販路開拓等

(4)竹バイオマス・エネルギー分科会:

他地域等と連携したエネルギーの製造と活用促進等

(5)竹の収集・処理地域システム分科会:

北薩エリアを中心にした安定的かつ効率的な竹の収集・処理等に係る地域システム構築等

事業化への総合的支援体制

- ①関係機関と連携した活用しやすい補助メニュー等の検討と活用方法のサポート
 - ②事業計画作成支援
 - ③各種調整・コーディネート対応
- 【メンバー】金融機関、支援機関、大学、コンサルタント等

本協議会
参加メリット